

東京大学総合研究博物館特別展示
「ディオニュソスとペプロフォロス - 東京大学ソンマ・ヴェスヴィアーナ発掘調査の一成果」展
記者発表のご案内

開催要旨

東京大学の海外学術調査隊がイタリアのナポリ近郊ソンマ・ヴェスヴィアーナ市のローマ時代遺跡「アウグストゥスの別荘」(通称)で、ローマ時代の「ディオニュソス」と「ペプロフォロス」の彫刻二体その他の古代ローマの遺物を発掘したことは、時代を画する大きなニュースとして世界各地に伝えられています。

本展は、上記の彫刻二体が、愛知万博に出品するため、イタリア政府の特別の計らいで国内に招来されている機会を利用して、ソンマでの東大調査隊の発掘成果の一端を学内外に広く紹介しようとするものです。

二体の彫刻を東京一円において一般に公開するのは、もちろん初めてのことであり、また、きわめて貴重な古代遺産であり、今後二度とイタリア国外へ貸し出しされる可能性がないと考えられることから、大学博物館で特別展示を行う意義は充分にあると考えられます。

学内での研究成果を社会一般に向けて公開することは、まさに総合研究博物館の使命そのものでもあり、東京大学全体にとっても意義深い展覧会になるに違いありません。

当日、受付にて資料を配付いたします。

また一般公開に先立ち、1F 展示ホールにおいて午後5時より内覧会を開催いたしますので、併せてご案内申し上げます。

2005 年 10 月 7 日
東京大学総合研究博物館